

農 大

令和5年9月26日発行

愛知県立農業大学校

令和5(2023)年度版



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



CONTENTS

- 1 専攻紹介 果樹専攻
- 2 専攻トピックス
- 3 クラブ紹介 (バレーボール部、バドミントン部)
- 4 農起業支援ステーションの紹介
- 5 トピックス
始業式、防災訓練、JA あいち中央から学生に奨学金授与
あいち農業経営塾開講、農業機械研修、
パソコン農業簿記入門、ドローン操縦体験セミナー
派遣実習開始式
- 6 お知らせ
令和6年度入学者選抜試験、農大祭

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram 



X (旧 Twitter)



専攻紹介

果樹専攻

果樹専攻は、「おいしい果物」につられた(?) 25人(2年生10人、1年生15人)の学生が、県内外から集まっています。

農大の最南端、黄色い鉄門とうっそうとした防風林の奥に4つの温室と7枚のほ場をもつ2.5haの果樹園があります。ブドウ、ナシ、モモ、カキ、ミカン、イチジク、ブルーベリー、アンズ、ウメなど2年生を中心に品目ごとに6つの班に分かれて栽培、収穫・出荷、販売実習を行っています。

販売は、市場流通や毎週水曜日の直売、西三河総合庁舎での販売の他、地元の洋菓子屋さんと連携してケーキ用の果実の提供も行っています。また、2年前から「おかざきかき氷街道」の店舗へかき氷用の果実を提供しています。

果樹のオフシーズンである冬場は、収穫しておいた果実を使ったジャム作りにも取り組んでおり、農大祭などで販売しており大変好評です。

ナシ



40aのナシ園で10種類以上の品種を栽培しています。食べ比べて自分の「推し品種」を見つけてね!

(栽培品種)
愛甘水、幸水、豊水、あきづき、歎月など



ナシの収穫は狭なしでできます♪

ブドウ

加温ハウス、無加温ハウス、露地の3つの作型で栽培しています。シャインマスカットの面積を増やそうと奮闘中です。

(栽培品種)
巨峰、シャインマスカット、シナノスマイルなど



1房ずつ丁寧に摘粒しています

ハウスミカン



今年は水管理を徹底し、甘いミカンを作ることができました♪

(栽培品種)
宮川早生



夏場の温度管理に気を使います

イチジク

完熟イチジクの販売が美味しいと好評。
ケーキ屋さんにも毎週提供しています♪

(栽培品種)
榊井ドーフィン、
パナーネ



1果ずつ硬さを
みて収穫します



モモ



担当者の腕が上がったの
か、近年食味が急上昇。
ジャム用モモを沢山貯蔵し
ています♪

(栽培品種)
ちよひめ、日川白鳳、
あかつき など

綺麗な色味のジャム
を目指しています



ブルーベリー

今年からポット栽培園を整備。
たくさんの品種を組み合わせ、
安定供給を目指しています

(栽培品種)
ラビットアイ系、
サザンハイブッシュ系
各種



こまめな
除草管理が大切



ジベレリン処理



ハウスのビニール張り



電気柵の設置



お品書きボードは
毎回お手製♪



ジャム作り



校外学習



校内品評会



直売は毎週大盛況♪



専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

（注）カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	7 (2)	5 (1)	9 (2)	15 (5)	14 (7)	15 (3)	15 (6)	10 (3)	90 (29)
2年	3 (1)	7 (2)	5 (1)	10 (0)	15 (7)	13 (3)	9 (6)	8 (4)	70 (24)
計	10 (3)	12 (3)	14 (3)	25 (5)	29 (14)	28 (6)	24 (12)	18 (7)	160 (53)

Dairy Farming



酪農

初めての種雄牛！！



9月6日(水)、7日(木)に岡山方面へ県外学習に行ってきました。岡山県では家畜改良事業団の方にお世話になり、和牛の種雄牛「富福花」と、ホルスタインの種雄牛の候補牛を見学させていただきました。

一般的に管理のし易さや肉質的な問題からオス牛には去勢を行います。去勢を行わない場合、より体つきは重々しく、目つきも鋭くなります。なかなか見ることのできないもので貴重な経験となりました。

Pig Farming



養豚

Egg-laying Hen



養鶏

～大雛を成鶏舎に移動しました～



6月中旬に入雛した名古屋コーチン750羽、白玉系250羽、赤玉系250羽等合わせて1300羽の雛をデビークやワクチン、朝夕の見回り時での水や餌の調整、温度管理など、育雛舎で手塩にかけて育ててきました。そのかいあってたくましく育った大雛を9月の上旬に成鶏舎に移動しました。

今年度は、鶏舎の改修があり、通常よりも少し早めの移動となりましたが、鶏たちは成鶏舎で順調に育っています。10月頃から白・赤玉系が、11月頃から名古屋コーチンが産卵開始する予定です。鶏たちが大活躍してたくさんの卵を産んでくれることを期待しています。



稲WCS専用品種収穫！

作物専攻では牛のエサとなる稲ホールクロープサイレージ（WCS）専用品種を栽培しています。その収穫を9月19日（火）に行いました。専用の収穫機を使って収穫し、ラッピングマシンでラッピングします。2か月程発酵させて、酪農専攻の牛に食べてもらいます。学生たちは普段触れることのできない専用の収穫機に最初は戸惑いながらも次第に楽しそうに操作している姿が印象的でした。

Fruit tree



果樹

今年もバラエティーパックが人気♪

8月下旬から9月上旬にかけて、バラエティーパックの注文販売を行いました。

バラエティーパックとは、果物の詰め合わせギフトのことで、ブドウ3種（巨峰、シャインマスカット、シナノスマイル等の赤系品種）とナシ、ミカンが入ったボリューム満点のギフト箱です。

職員や学生への販売の他、総合庁舎での販売を予約制で行い、今年は過去最多の320箱を販売しました。学生が、値段の組み合わせを考えるなど、丹精込めて作っていました。今年も好評だったため、来年以降も続けていきます♪



鉢花・緑花木

雨にも負けず！ ～鶴舞公園の花壇を定植しました～



9月12日（火）に名古屋市鶴舞公園で花壇の定植を行いました。

今回は2年生が考案したデザインを基に、農大で栽培した季節のお花を植えました。この日はあいにくの雨でしたが、2年生の3名は泥だらけになりながらも達成感でいっぱいの表情！！

鑑賞期間は2か月ほど。この花壇は公園入口のメインゲートにありますので、ぜひお越しください♪



お彼岸用のキクを販売しました！

今年も秋のお彼岸の時期がやってきました。お盆、年末と並び、キクの花束や仏花のセットが大量に売れる日です。

今年のお彼岸向けのキクは、7月の猛暑の影響を受けて花が潰れたような形になったり上部の葉がうまく育たなかったりしたものが多かった印象です。品質の良いものは例年より少なかったですが、なんとか販売用の数量は確保することができました。

お彼岸の直前、9月20日の実習販売では、学生が組んだ仏花のセットがよく売れました。学生は、お客さんの要望に合わせてお渡しする花束を選ぶなどし、落ち着いて対応ができていました。



トマト類、ナス、キュウリの定植が完了！

施設野菜専攻ではトマト、ミニトマト、ナス、キュウリの定植を行いました。

夏休み期間中に育苗やほ場の土壌消毒などの準備を行い、8月末から順次、定植を行いました。1年生が接ぎ木作業に挑戦したところ、一部の苗が枯れてしまいましたが、予定していたハウスすべてに定植することができました。9月から10月にかけては1年生が派遣実習期間のため、2年生が責任を持って管理を行い、順調に生育させられるようにしたいです！



冬野菜の播種、定植最盛期！！

先月から始まった冬野菜の播種、定植が最盛期を迎えています。

キャベツ、白菜、ブロッコリー、ニンジン、ダイコンと、他にも沢山の野菜を育てていて、毎週、定植をしています。天気によっては圃場に入れず作業が滞ることもありますが、そこは2年生が手際良く作業を進め、遅れを取り戻しています。生育が早いミニ白菜は、すでに収穫が始まっていて、水曜の直売での大人気商品となっています。

※ 各専攻の様子は、農大のインスタグラム、ツイッターで情報発信しています。

学生クラブ紹介

バレーボール部

部員数 18名
（男子12名 女子6名）
活動日時 木曜日 18:00～
活動場所 体育館



経験者、未経験者共に毎週木曜日に体育館にて活動しています！とてもアットホームな空間で、練習は準備運動とスパイク練習を済ませたらひたすらゲームをまわしています！バレーは東海近畿スポーツ大会の種目にもなっていますので、農大に入学したらバレーで共に優勝目指して頑張りましょう！

バドミントン部

部員数 23名
（男子14名 女子9名）
活動日時 火曜日 18:00～
活動場所 体育館



こんにちは、バドミントン部です。毎週火曜日に体育館で活動しています。基礎打ちをしたりゲーム練習をしています。毎年行われる当会近畿スポーツ大会に向け得てみんなで楽しく活動しています。

今年の東近大会では、団体戦で準優勝と個人でもたくさんの方が良い成績を取ることができました。未経験の人でも楽しく活動ができ、一年たてば意外と良い成績が残せます。

特集



あなたの就農を応援します
愛知県農起業支援ステーション

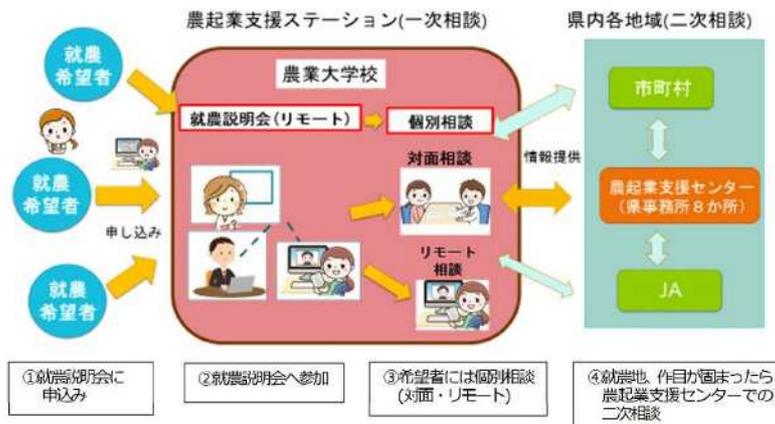
R5.5.12 農業見学の様子

愛知県は、県内全域の就農相談窓口として「愛知県農起業支援ステーション」を農業大学校内に設置しています。農業大学校では、農業後継者、新たに就農を希望する学生・研修生の育成に加え、就農者確保に向けた相談機能も果たすことにより、愛知県農業の担い手の確保と育成を総合的に支援しています。

今回は、愛知県農起業支援ステーション（以下、ステーション）の活動を紹介します。

就農相談の流れ ～就農説明会後に個別相談～

「農業を始めたい」、「就農について教えてほしい」などの問い合わせに対して、ステーションでは、まずは就農説明会（以下、説明会）に参加してもらいます。説明会では就農するまでの基本的な流れと、品目の決定や農地の確保など就農に必要な要件や支援制度などを説明します。「農業をやってみたい」、「農業に関心がある」という人でも、その多くは就農に関する知識が不足しているのが現状です。そこで、就農を考える上で、最低限必要な知識を説明会で得てから、個別相談に進みます。



就農相談の流れ



説明会は1時間程度で月に2回開催しており、基本的にリモートで実施しています。説明会に加えて、「農業見学会」、「JA等産地の研修受入体制」、「先輩農家の講話」を実施する回もあります。

「産地の研修受入体制」では、農協職員等から研修制度や受入体制について知ることができます。

「先輩農家の講話」では、ナスやイチゴ等の新規参入者から体験談を聞くことができます。就農するまでの苦勞、営農が軌道にのるまでの苦勞や就農に向けた心構えなど、これから就農を目指す参加者に

実体験を直接聞くことができる機会です。

説明会の申込はインターネットで受け付けています。農大のホームページや「愛知県で農業を始めたい人へ」で検索、あるいは市町村や農協、農業改良普及課に設置したチラシの二次元バーコードからでも申し込みフォームに入れます。

申し込みが完了すると自動返信メールが届きます。リモートで参加を希望された方には、開催2日前に Cisco Webex Meeting の Web 会議の URL をステーションからメールします。

説明会では、各種就農支援制度の説明後に、質疑応答の時間も設けています。

説明会の後、個別の就農相談の予約を受け付けます。リモートでも対面でも対応しています。個別相談の前に就農相談カルテを作成して提出していただきます。

個別相談は、現況や本人の希望を聞きながら進めます。就農するためにやるべきことは人それぞれなので、ステーションでは相談者に合わせて回答をしています。

相談を通して、品目や就農地が決まった段階で、各地の農起業支援センター（(県農林水産事務所農業改良普及課)に相談を引き継ぎます。引き継ぎ後も、予定どおり就農できるよう、農起業支援センターや市町村、農協とその後の進展を情報共有し、必要に応じてステーションからアドバイスをし、就農を支援します。

回	月 日	時 間	申込み締切日
第13回	10月 2日(月)	13:30-15:30	9月27日(水)
第14回	10月20日(金)	18:00-19:00	10月17日(火)
第15回	11月 2日(木)	13:30-15:30	10月30日(月)
第16回	11月24日(金)	18:00-19:00	11月21日(火)
第17回	12月 4日(月)	13:30-15:30	11月30日(木)
第18回	12月21日(木)	18:00-19:00	12月18日(月)
第19回	1月15日(月)	13:30-14:30	1月10日(水)
第20回	1月29日(月)	18:00-19:00	1月25日(木)
第21回	2月 7日(水)	13:30-14:30	2月 4日(日)
第22回	2月19日(月)	18:00-19:00	2月14日(水)
第23回	3月 7日(木)	13:30-15:30	3月 4日(月)
第24回	3月21日(木)	18:00-19:00	3月18日(月)

今後の就農説明会の予定

ステーションでの就農相談状況

4月から8月末までの相談者は 132 人となりました。30代、40代が約6割を占めます。農業経験の無い人が6割以上、農地のない人は8割になります。技術習得と農地の確保のためには研修が不可欠ですが、研修開始前に、農業に向いているかを農業体験で確認することをお勧めします。

農業を志す方は、まず、説明会にご参加ください。

トピックス

始業式を開催しました

9月1日(金)、長い夏期休業を終えた学生たちが元気な姿で大講義室に集合して、始業式を迎えることができました。

石橋校長から、2学期に向けて、進路先が決定していない2年生は積極的に就職活動を行い、進路を決定すること。また、1年生は、この後に予定されている農家派遣実習について、今後の進路選択のための貴重な経験であり、農家とのコミュニケーションを大切に有意義な研修とするよう講話がありました。

オープンキャンパスでは、多くの学生が受験を考えている高校生に農大のPRをしてくれました。

これからいよいよ2学期が始まります。2学期は収穫感謝祭や農大祭、1年生の意見発表会、2年生の卒論発表会など多くの行事が予定されています。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染症に気をつけて、充実した学生生活を目指していきましょう。



防災訓練を実施しました

防災の日である9月1日(金)、始業式終了後に農学科の学生、研修生と職員を対象に消防防災訓練を実施しました。

大規模地震が発生し、地震発生と同時に、各自がその場で「姿勢を低く」「頭を守り」「じっとする」3つの動きを身に付ける「あいちシェイクアウト訓練」に取り組みました。その後、学生は職員の誘導のもとに運動場に避難しました。



～あいちシェイクアウト訓練～

本校学生が「農業後継者育成奨学金」を授与されました

8月19日(木) JA あいち中央主催の「農業後継者育成奨学金」贈呈式が開催され、授与者8名のうち本校から2名が奨学金を授与されました。

渥美純一代表理事組合長から奨学生全員に奨学金の目録が贈呈され、各奨学生は就農に向けて「地域農業の発展に貢献していきたい」と力強い抱負を述べました。

将来の地域の中心となる農業者として活躍されることを期待しています。



あいち農業経営塾が始まりました

8月30日(水)、あいち農業経営塾（旧 愛知農業次世代リーダー塾）の開講式を開催しました。

本年度の受講者は、20歳代から50歳代の21名で、男性15名、女性6名です。

本年度の講座構成においては、労務管理及び産地活動活性化のための講座を強化しました。2月までの半年間で、12回の講座を開催していきます。

開講式の後、早速第1回講座があり、この塾で経営計画作成を指導する東海経営支援センターの深谷定弘氏から「これからの農業経営」と題して講話があり、受講生は熱心に聴講していました。



夏期休業期間に農業機械研修を開催しました

夏期休業期間に、各種の農業機械研修を開催し、農大生や農業者等が受講しました。

「大特免許研修」と「けん引免許研修」は、それぞれトラクター単体及びトラクターでトレーラーをけん引して公道走行できる運転免許を取得するための研修です。研修で十分に走行練習した後で技能試験を受験し、45人全員が見事に合格しました。

「刈払機研修」と「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」は労働安全衛生法に基づいた安全衛生教育の修了証を取得する研修です。機械の構造や安全操作の方法について学科及び実技の講習を受け、65名全員が修了証を受領しました。

企画研修部では、10月以降も農業機械に関して、資格を取得するための研修や、技能向上のための研修を開催していきます。



技能試験の様子(大型特殊免許)



フォークリフト研修の様子

パソコン農業簿記入門(経営管理研修)を開催しました

8月25日(金)に経営管理研修「パソコン農業簿記入門」を開催し、20名の参加がありました。

研修会では、樋田久講師から、農業経営に必要な農業簿記の基礎知識とパソコンを活用した農業簿記ソフト（ソリマチ）の利用法について学びました。

初めに青色申告の概要説明を受け、その手続き方法を学びました。次に、パソコン簿記の概要説明を受け、初期設定を各自入力しました。

特に、経営形態では複数の形があるため、考えながらの入力が求められました。

その後、メインとなる仕訳入力を行いました。例題として、農業経営上の取引が提示されて、資産、負債の項目を選択し、仕訳項目を設定しました。参加者は、出題が進むにつれ、スムーズに入力ができるようになりました。

最後に、講師から、「農業経営は診断が最も重要である。パソコン簿記を活用しながら、その結果を考察していくことは、農業経営者として大切である。」とのまとめがありました。

また、研修後のアンケート結果においても、「今後はパソコン簿記を活用したい。」などの回答もあり、有意義な研修会となりました。

年が明けて、1月15日(月)には経営管理研修「パソコン農業簿記活用（財務諸表の活用）」を開催する予定です。農家の皆様からの多くの御参加を期待しています。



ドローン操縦体験セミナーが開催されました

9月8日(金)に岡崎市中小企業・勤労者支援センター主催で、岡崎市との連携協定の一環として、農業大学の露地野菜専攻ほ場において、農業用ドローンの体験セミナーが開催されました。

当日は、一般の参加者8名を始め、農業大学の学生2名、職員3名が見学しました。インストラクターによる実演では、大型ドローンを使用して、圃場への農薬に見立てた水の散布がありました。ドローンの飛行姿勢は安定しており、無人ヘリに比べて精密な作業が可能とのこと。広範囲の農薬散布を短時間で容易に実施でき、近未来の農業を体感しました。



「派遣実習」が始まりました

9月12日(火)に、本校農学科1年生において重要なカリキュラムである「派遣実習」の開始式を、県内各農業改良普及課(駐在室を含む)で行いました。1年生90名が80件(うち県外5件)の受入農家で実習を開始します。

派遣実習は、より実践的な技術や経営方法、農家生活を先進農家等で体験し、実際の農業を肌で感じ取るものです。自らの持てる力を総動員して、勉強や技術習得に頑張ってくれることを期待しています。

受入農家の皆さんには、大変な御苦勞をおかけしますが、どうぞよろしく願いいたします。



派遣実習開始式(東三河)

お知らせ

愛知県立農業大学校 令和6年度 入学者選抜試験

●一般推薦入学試験

出願期間 9月28日(木)～10月13日(金)
試験日 10月30日(月)
合格発表 11月10日(金)
試験科目 小論文(800字以内)、面接試験
募集人員：定員100名のうち2/3程度

●一般入学一次試験

出願期間 11月9日(木)～11月24日(金)
試験日 12月8日(金)
合格発表 12月20日(水)
試験科目 数学I、小論文(800字以内)、面接試験
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数



※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください

予告

《農大祭》 期日:令和5年12月2日(土)開催！！